

BCAO新型インフルエンザ研究会 訓練タイムスケジュール

2011. 3. 24

時間	経過時間	項	ファシリテータ		対策本部/総務人事部門	現場部門	情報提供	
			報道	自社状況				
16:00			オリエンテーション(全体訓練説明) ・訓練の進め方説明 ・ポストイット、アンケート配布					
16:15	201×年 10年01日		訓練開始 ・国内で、初めて新型インフルエンザ感染者発生口(東南アジアから羽田に帰国した旅行者) ・政府は発生段階を第2段階(国内発生早期)に引き上げ ・発熱外来を設置 ・報道メディアは一斉に報道		・従業員、派遣社員の罹患情報の確認		第一報の配布	
16:20	10年10日		・東京都で感染者50名に拡大 ・報道メディアは益々過熱 ・発熱外来には相談が殺到 ・マスク、消毒液など購入者が殺到、入手困難に		・従業員の体調セルフチェック開始 ・本社(日本橋)、横浜工場の従業員に罹患/濃厚接触者の取り扱い通達	・出勤状況の把握 ・感染予防の徹底 ・体調管理徹底と毎朝報告指示 ・罹患発生時の対応指示 ・備蓄品の確認	・出勤状況の把握と管理 ・各部門へ感染時の対応方法徹底 ・毎朝報告(体温・発熱)の徹底	第二報の配布
16:40	10年17日		・首都圏で500名に感染 ・神奈川県で100名に感染 ・国内感染者で初の死亡者発生 ・感染者の発生した地域での学校閉鎖が始まる		・取引先の原料メーカーX社にて感染者が発生 ・顧客のZ社から製造状況の問い合わせ ・イベント・会議・出張について従業員から問合せ	・感染予防/拡大防止の再徹底 ・X社の状況を現場に連絡 ・イベント・会議・出張について対応検討	・現場対策本部設置の検討 ・全サプライチェーンへの原料納入確認 ・在庫の確認 ・生産計画の見直し ・工場内での注意喚起と衛生管理の徹底	第三報の配布
17:00	10年24日		・首都圏で10,000名感染 ・東北、東海にも感染者発生 ・政府は、第3段階(感染拡大期)を宣言 ・致死率は、15%程度と判明 ・医療機関には患者が急増 ・医療従事者にも感染者発生		・横浜工場で感染者/濃厚接触者が発生 欠勤者(欠勤率10%) ・製造一部 3名 ・製造二部 7名(内、派遣2名) ・検査部 1名 ・製品管理部 1名 ・厚生労働省から、顧客(医薬品会社)を通じて生産維持の要請あり	・本社従業員の在宅勤務の検討 ・大阪工場からの支援を検討 ・派遣社員の代替検討 ・通勤手段、時差出勤の検討 ・工場の社員食堂の対策検討	・対策本部へ発生状況報告 ・要員スキルマップの活用 ・計画部と業務部の在宅勤務検討 ・スプリット体制の検討 ・生産稼働時間の延長を検討 ・ろう城(工場近辺での宿泊)を検討	第四報の配布 休業者の名簿配布
17:20	11年01日		・首都圏で50,000名感染 ・東北、東海にも感染者拡大 ・関西、九州、にも感染者発生 ・鉄道・バス交通機関も間引き運転 ・首都圏の物流の一部に影響 ・首都圏の学校はほぼ全校閉鎖		・本社・横浜工場で感染者/濃厚接触者が拡大 欠勤者(欠勤率40%) ・計画部 2名 ・業務部 2名 ・製造第1部 12名 ・製造第2部 28名(内、派遣8名) ・検査部 1名 ・製品管理部 4名 ・その他本社 20名 ・従業員で自主的に出勤しない者が始まった	・本社従業員の在宅勤務シフト ・大阪工場からの支援者の受入れ ・派遣会社の代替要員の手続き ・通勤手段、時差出勤の通達 ・代替要員への出勤支持の検討	・大阪工場への要員支援の要請 ・要員スキルマップの活用 ・長時間残業の管理 ・スプリット体制の導入 ・関連部門からの支援も検討 ・物流業者と対策を検討	第五報の配布 休業者の名簿配布
17:40			訓練終了		・各チーム毎に検討結果を発表 ・検討する場合の課題を抽出	・各チーム毎に検討結果を発表 ・検討する場合の課題を抽出		
18:00			課題整理シートに反映できる事項を整理					
18:20			アンケート記入終了					